

公益信託世田谷まちづくりファンド

第30回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【3回目応募グループ】

< 4-1 劇団・せたがや創作紙芝居 >

- ・コロナ禍によって、これまで通り活動ができない中、Zoomで芝居のレクチャーを受けるなど、団体内部の発展にも時間や予算を使え、今後の活動に生かせるのかなと思いました。コロナ前に行っていた小学校やデイサービス訪問を復活させつつ、継続的な活動へのさらなる工夫をお願いします。

< 4-2 IBASHO >

- ・地域住民が主体的に参加し、地域組織が連携して子どもたちの主体性を育む活動を続けていらっしゃることに敬意を表します。学童が終わる小学校4年生以降は思春期が始まり、中学生への進級を控え、親子共に心身に負担がかかる時期です。自立過程の子どもたちがゲームやテレビに依存せずに成長していくためには、できるだけ他者との交流の場、自らの意思決定による遊びと学びができる場が必要ですが、そのような機会が不足がちな今、本活動は大変重要な取り組みと考えます。今後の継続を切に願います。